

# 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社北川鉄工所  
 コード番号 6317  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 URL <https://www.kiw.co.jp/>  
 (氏名) 岡野 帝男  
 (氏名) 三好 桂司 (TEL) 0847(45)4560

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	41,791	0.0	1,732	23.1	1,794	△9.6	2,612	122.8
2025年3月期第3四半期	41,784	△8.7	1,407	16.9	1,985	8.3	1,172	△17.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,077百万円(339.6%) 2025年3月期第3四半期 472百万円(△81.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	282.57	—
2025年3月期第3四半期	126.96	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	80,816	43,279	53.5
2025年3月期	82,000	41,739	50.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 43,274百万円 2025年3月期 41,734百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	50.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	57,300	0.0	1,900	1.5	1,700	△26.6	2,600	108.5
								281.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	9,650,803株	2025年3月期	9,650,803株
2026年3月期3Q	398,962株	2025年3月期	411,583株
2026年3月期3Q	9,246,286株	2025年3月期3Q	9,235,627株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年12月31日まで)における世界経済は、米国の通商政策や中国経済の減速、不安定な中東情勢などにより先行き不透明な状況が続きました。また、わが国経済も雇用・所得環境の改善等により個人消費は持ち直しの動きが見られたものの、物価の高止まりや急激な為替の変化など不確実性の高い状況が続きました。

このような経営環境下において、当社グループの売上高につきましては、金属素形材事業は受注量が減少したことで減収となりましたが、工作機器事業および産業機械事業のコンクリートプラント事業が増収となり、前年同期比でほぼ同水準となりました。

営業利益につきましても、産業機械事業の収益性の改善、金属素形材事業におけるコスト低減活動や販売価格改定により前年同期比で増加しました。また、当社および当社タイ子会社において有形固定資産の売却に伴う特別利益を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比で大きく増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高 41,791百万円(前年同期比 0.0%増)、営業利益 1,732百万円(前年同期比 23.1%増)、経常利益 1,794百万円(前年同期比 9.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,612百万円(前年同期比 122.8%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### キタガワ グローバル ハンド カンパニー(工作機器事業)

工作機械業界は、内需は設備投資が依然として力強さを欠いていますが、外需はアジアを中心に引き続き堅調に推移しています。

当カンパニーの売上高につきましては、インドや中国等の海外受注が好調を維持し、7,205百万円(前年同期比 11.0%増)となりました。一方、セグメント利益(営業利益)につきましては、国内市場での受注量減少の影響に加え、工場移設に伴う費用の発生等により192百万円(前年同期比 47.9%減)となりました。

#### キタガワ サン テック カンパニー(産業機械事業)

建設業界は、全体的に好調であり公共投資を中心に底堅く推移しています。

当カンパニーの売上高につきましては、コンクリートプラント事業のメンテナンス工事が順調に推移したことなどにより15,369百万円(前年同期比 7.5%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)につきましても、コンクリートプラント事業の売上増加および荷役機械事業の収益改善、自走式立体駐車場事業の収益の安定化により、1,888百万円(前年同期比 69.5%増)となりました。

#### キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー(金属素形材事業)

自動車業界は、米国の通商政策による影響を受けつつも、ICE・HV車両が一定の需要を維持しました。一方で、EV車両については中国など一部地域で販売台数が増加しているものの、市場全体では停滞感が強まっています。また、農業機械・建設機械業界は、国内やアジアでの購買意欲の高まりや、欧米では一部に底打ちの兆しが見られるものの、依然として厳しい状況が続いています。

当カンパニーの売上高につきましては、自動車部品は一定の受注量を確保できましたが、農業機械・建設機械部品は市況の落ち込みにより安定した受注量を確保することができず、17,746百万円(前年同期比 4.3%減)となりました。一方、セグメント利益につきましては、コスト低減活動や販売価格改定により収益確保に努めたことで、370百万円(前年同期セグメント損失(営業損失) 56百万円)と黒字転換となりました。

#### 半導体関連事業

半導体業界は、AI関連向けの設備投資が堅調であり順調に推移しております。

当事業セグメントの売上高につきましては、連結子会社である北川グレステック株式会社において、好調なAI関連の設備投資を背景に消耗品の販売や半導体関連の受託加工が底堅く推移しましたが、ハードディスク製造装置の大型案件が前期で完了したことで1,267百万円(前年同期比 32.1%減)となりました。また、セグメント利益につきましても、今後の事業拡大に向けた開発投資の増加等の影響により61百万円(前年同期比 87.9%減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べて1,183百万円減少し、80,816百万円となりました。

負債は、前受金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて2,723百万円減少し、37,537百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて1,539百万円増加し、43,279百万円となりました。  
純資産から非支配株主持分を差し引いた自己資本は43,274百万円となり、自己資本比率は53.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、直近の業績動向を踏まえ、2025年11月12日に公表しました業績予想の内容を修正しております。

詳細につきましては、本日（2026年2月13日）公表の「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,503	10,767
受取手形、売掛金及び契約資産	8,780	7,506
電子記録債権	6,304	6,296
商品及び製品	4,716	5,403
仕掛品	5,974	6,607
原材料及び貯蔵品	3,059	2,995
その他	1,175	1,192
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	41,500	40,753
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,655	7,887
機械装置及び運搬具（純額）	11,121	10,607
その他（純額）	7,375	6,679
有形固定資産合計	27,151	25,174
無形固定資産		
のれん	534	468
その他	548	526
無形固定資産合計	1,082	995
投資その他の資産	12,265	13,893
固定資産合計	40,500	40,063
資産合計	82,000	80,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,696	3,322
電子記録債務	5,602	5,341
短期借入金	3,648	4,446
1年内返済予定の長期借入金	1,875	1,904
未払法人税等	495	93
前受金	2,412	—
賞与引当金	672	181
役員賞与引当金	27	—
製品保証引当金	109	69
資産除去債務	137	—
その他	6,729	6,911
流動負債合計	25,407	22,271
固定負債		
長期借入金	8,337	7,668
退職給付に係る負債	4,408	4,647
その他	2,107	2,950
固定負債合計	14,853	15,266
負債合計	40,260	37,537
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,640	8,640
資本剰余金	4,893	4,886
利益剰余金	22,017	24,075
自己株式	△777	△753
株主資本合計	34,773	36,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,896	2,468
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	3,501	2,456
退職給付に係る調整累計額	1,562	1,499
その他の包括利益累計額合計	6,960	6,424
非支配株主持分	4	5
純資産合計	41,739	43,279
負債純資産合計	82,000	80,816

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	41,784	41,791
売上原価	35,137	34,819
売上総利益	6,646	6,972
販売費及び一般管理費	5,239	5,239
営業利益	1,407	1,732
営業外収益		
受取利息	33	12
受取配当金	112	140
持分法による投資利益	92	—
為替差益	239	28
スクラップ売却益	153	102
その他	252	138
営業外収益合計	883	422
営業外費用		
支払利息	264	249
持分法による投資損失	—	7
減価償却費	—	37
その他	40	65
営業外費用合計	305	360
経常利益	1,985	1,794
特別利益		
固定資産売却益	35	2,253
株式交換差益	—	80
特別利益合計	35	2,334
特別損失		
固定資産売却損	—	254
固定資産除却損	—	197
減損損失	—	97
損害補償損失	22	—
特別損失合計	22	549
税金等調整前四半期純利益	1,999	3,580
法人税、住民税及び事業税	294	310
法人税等調整額	533	655
法人税等合計	827	966
四半期純利益	1,171	2,613
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,172	2,612

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,171	2,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△191	572
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△415	△1,024
退職給付に係る調整額	△90	△63
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△20
その他の包括利益合計	△698	△535
四半期包括利益	472	2,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	473	2,076
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	半導体関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,494	14,303	18,535	1,868	41,200	583	41,784
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	0	137	0	153	—	153
計	6,510	14,303	18,672	1,868	41,354	583	41,938
セグメント利益又は 損失(△)	369	1,114	△56	506	1,934	△46	1,887

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,934
「その他」の区分の損失(△)	△46
全社費用(注)	△479
四半期連結損益計算書の営業利益	1,407

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	キタガワ グローバル ハンド カンパニー	キタガワ サン テック カンパニー	キタガワ マテリアル テクノロジー カンパニー	半導体関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,205	15,369	17,746	1,267	41,589	202	41,791
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	0	132	—	178	—	178
計	7,250	15,370	17,878	1,267	41,767	202	41,970
セグメント利益又は 損失(△)	192	1,888	370	61	2,513	△76	2,437

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特機事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,513
「その他」の区分の損失(△)	△76
全社費用(注)	△705
四半期連結損益計算書の営業利益	1,732

(注) 主に提出会社の管理部門に係る費用及び各セグメント共通の費用で便益の程度が直接把握できない費用部分であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,135百万円	2,310百万円
のれんの償却額	66百万円	66百万円